

白浜レスキューネットワーク通信 10月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

10月1日～10月31日

電話件数 58件

保護件数 6人(男性4人、女性2人)

帰宅件数 3人(男性3人)

自主退所 1人

○3日、30代の東京に住む女性から電話があった。父親からの言葉の暴力がひどく助けを求めている。白浜駅まで迎えに行き保護した。共同生活に加わるようになった。10日に一度帰り、家族と話をしてもう一度戻ってくる予定だったが、家に戻ったまま、連絡がきていない。

○4日、40代の広島県に住む男性から相談にのってほしいと電話があった。近くまで来ているとのことだったので、スタッフが対応、話を聞いている中で落ち着き、そのまま帰宅した。

○8日、東京にすむ女性の方から、以前プロフェッショナルを見て、相談に乗ってほしいと電話があった。いてもたってもいられない様子だった。飛行機とタクシーで来た。自分への中傷がインターネットに書かれてしまっていると思いついて悩んでいた。その事実があるのかははっきりしないのだが、そんなことはないという周りの言葉を信じることができないようだ。その夜は近くの民宿に宿泊した。話をしている中で落ち着き、翌日帰宅した。

○15日、大阪に住む50代の男性が相談に来た。2年前にも一度来て、夕食を食べて帰ったことがあった。現在は生活保護を受けている。話をしている中で落ち着き、翌日帰宅した。

○17日、40代の京都に住民票を置く男性が民間の保護施設があると紹介されてきた。共同生活に加わるようになったが、21日理事長の許可も得ず、役場に生活保護の申請に行き、それが

明らかになり指摘し結果出て行った。その後近くのホテルへ就職が決まり、その寮に入っている。

○40代の熊本出身の男性が、相談に来られた。共同生活に加わるようになった。

生活自立支援活動

10月1日～10月31日

滞在者数 14人(男性14人)

自主退所 1人

○31日、8月に保護された70代の男性が近くのアパートへ自立した。今後も食事や作業での関わりは続けていく。

○以前うちから自立し、美浜町に引っ越しをした男性が、新しい就職先が合わず、辞めてしまった。失業してから美浜の知人の家や教会にお世話になっていたが、そこでもだんだんとうまうまかなくなり、白浜に戻って来た。しかし、発達障害もあり、どうしても共同生活に加わることを拒否していた。相談の結果、一か月の猶予を与えて一室を貸し、どこか行く先を見つけるか、見つからなければうちのルールに従って共同生活に加わるという約束をした。しかし結局一か月中に決めることができず、しかも共同生活には加わりたくないという意思を出していった。近くのホテルで寝泊まりしながら就職活動をし、北海道の牧場に就職が決まり、引っ越しをした。

○22日、白浜町の臨時職員として働いていた男性が、任期満了で退職し、次の就職先を探していた。福祉関係の仕事に就職が決まり、健康診断へ行った時、病気が発覚、即入院となった。うっ血性心不全と診断され。就職先が決まった矢先での出来事で残念だったが、大事に至る前

に発見できたのは不幸中の幸いだった。

○今月保護された40代の男性が農作業に少しずつ関わっている。もともと他県で生活保護を受けていたが、それを切つてここで自立に向けてやり直す方向で頑張っている。

○先月大腸と小腸の緊急手術をし、入院した男性は、救急救命室から一般病棟に移り、治療を続けている。家賃の支払いや買い物など身の回りの世話をしている。障がい手帳の手続きを行い、退院後どうしていくかを役場と調整しながら話し合っている。

自殺予防活動

・放課後クラブ・コペルくん

開催日数18日、延べ人数106人



今月も、高学年を中心に元気に集まってきた。西富田からもう一人小学校6年生の男の子が毎日来るようになった。

共同生活者の中から2名、20代と30代前半の青年がコペルくんに携わっているが、子どもたちとその2人との信頼関係も強くなってきた。今までは子どもを叱ることもできないと言っていた20代の青年も、徐々に注意したり、熱く教えている場面を目にするようになった。子どもたちもその言葉にはっとして、反省したり、やり直している。

10月に入り、だんだんと寒くなってきたので、コペルくんのおやつもホットケーキや肉まん、お餅なども出すようになった。学校での出来事など楽しく話しながらおやつの時間をもっている。

・相談電話

1、8、15、22、29日に毎週休まず行った。今月も1名の相談員が続けてきてくださった。県外からの相談が多く、毎週ほぼ欠かさずにかけて来る方がいる。

・まちなかキッチン

夕方16時からの惣菜の時間に、おでんを始めた。こんにゃく、たまご、大根、厚揚げ、ちくわ各60円。

・おからクッキー



おからクッキーの販売を再開した。よってって、紀菜柑、エバグリーン上富田、業務スーパーで好評販売中。

・バット博士記念ホーム研修

神奈川県にある児童養護施設「バット博士記念ホーム」の職員の方々が2つのグループに分かれて研修に来られた。コペルくんやおからクッキー、はじめ人間の小屋の修理等々携わってくださった。

・10月14日大阪南YMCAで講演

・10月23日滋賀県野州学区の民生委員・児童委員協議会の方々14名が視察に来られた。